

議員提出議案第5号

核実験の中止と核兵器廃絶を求める意見書

このことについて、下記のとおり内閣総理大臣、外務大臣、防衛庁長官に意見書を提出する。

平成10年6月23日

提出者	三朝町議会議員	田 栗 公 雄
賛成者	三朝町議会議員	小 椋 昭 一
賛成者	三朝町議会議員	藤 井 享
賛成者	三朝町議会議員	倉 本 良 人
賛成者	三朝町議会議員	岡 本 岩 夫
賛成者	三朝町議会議員	牧 田 武 文
賛成者	三朝町議会議員	御 船 征 夫

平成10年6月23日原案可決
三朝町議会議長 西村武津美

核実験の中止と核兵器廃絶を求める意見書

今回のインド・パキスタン両国の核実験の強行は、アジアの新しい核軍拡競争をもたらし、核戦争の危険を現実のものとする重大な事態である。同時に、核兵器全面禁止と平和の町宣言を決議し、その実現に向けて取り組んでいる三朝町民の願いを踏みにじるものである。

また、今回の核実験は、アメリカなど5か国だけの独占的な核保有を認めた核拡散防止条約（NPT）では、核兵器の拡散をおさえることは不可能であり、核兵器廃絶のための国際条約締結が必要であることを示している。

よって、政府におかれては、インド・パキスタン両国の核実験に厳重に抗議するとともに、核保有国に対して、あらゆる形態の核実験全面禁止と核兵器廃絶条約を締結するよう働きかけ、早急に核兵器を廃絶する努力を強く要望する。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により、意見書を提出する。

平成10年6月23日

鳥 取 県 三 朝 町 議 会